

2013年度 在香港日系企業における現地社員の昇給賞与・福利厚生に関する調査
2014年2月 調査結果報告(ダイジェスト版)

お客様各位

平素より弊社を御愛顧戴き心より御礼申し上げます。

この度、パソナアジアHRリサーチでは、【在香港日系企業における現地社員の昇給賞与・福利厚生に関する調査】を実施致しました。下記のとおり、ダイジェスト版として、調査概要・結果をまとめさせていただきましたので、お役立ていただけましたら幸いです。

なお、当調査は、毎年実施申し上げており、ご回答いただきました企業様には、全調査結果(2013年度版は全32頁)を無料にて進呈させていただきます。本ダイジェスト版では、一部抜粋箇所のみのご案内とさせていただきます。

次回は是非ともご協力いただけましたら誠に有難く存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

**本内容に関しまして、ご不明点等がございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせくださいませ。
今後も様々な調査活動を進めて参る所存でございますので、引き続きご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

パソナアジア HR リサーチ

Email: research@pasona.com.hk

担当: ギャラガー 七重・佐藤 由佳

調査実施概要

調査期間	2013年11月4日～2014年1月10日
調査対象	在香港日系企業
調査方法	オンライン調査
配信企業数	623社
有効回答企業数	182社
回答率	29.2%
使用言語	日本語・英語
調査実施機関	Pasona Asia Human Resource Research

用語解説

当調査では、下記定義に基づき、用語を使用しております。

用語	定義
管理職	Managerレベル以上で、担当業務(部署)、もしくは幹部責任者を意味する。 Deputy Manager、Assistant Manager は含まないこととする。
スタッフレベル	Manager未満の社員を意味する。

給与・賞与について

1. 昇給率

1.1 2013 年度 昇給実績

有効回答企業(182社)によると、全社員平均値は、全業種平均で 5.02%であった。
また、最小昇給率は、-15.00%、最大昇給率は、0%~55.60%であった。



(※)平均値については 0.01%以上を有効回答としている。マイナス昇給・凍結(現状維持)は除く。

1.4 2014 年度 昇給率予測

有効回答企業(119社)によると、全社員平均値は、全業種平均で 4.28%となり、最小昇給率は 0.00%、最大昇給率は 20.00%であった。
2014 年度は、2013 年度に実施された全社員平均値 5.02%より若干低い水準にて実施されるものと予測される。

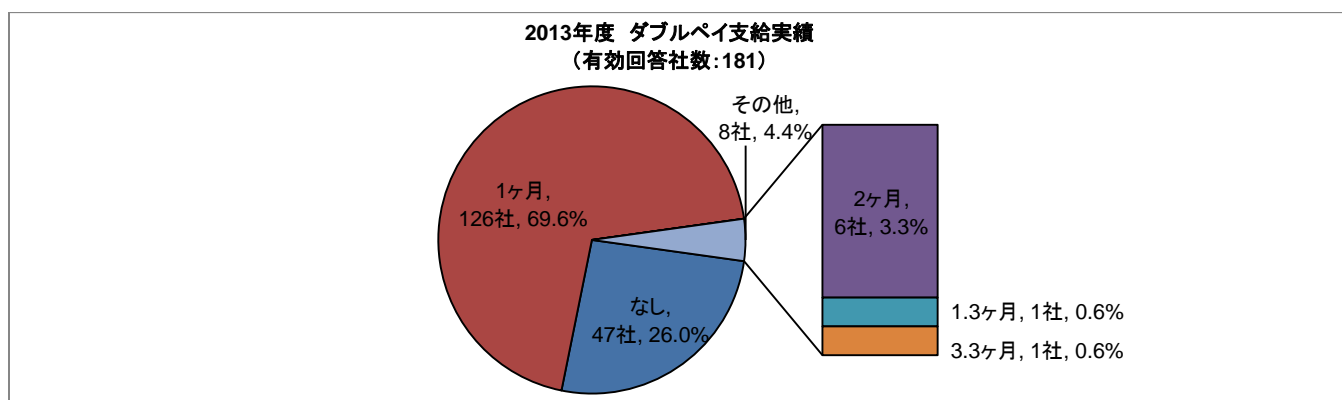
2014 年度昇給率予測	
最大値	20.00%
平均値(※)	4.28%
最小値	0.00%

(※)平均値については 0.01%以上を有効回答としている。マイナス昇給・凍結(現状維持)は除く。

2. ダブルペイ

2.1 2013年度 ダブルペイ支給実績

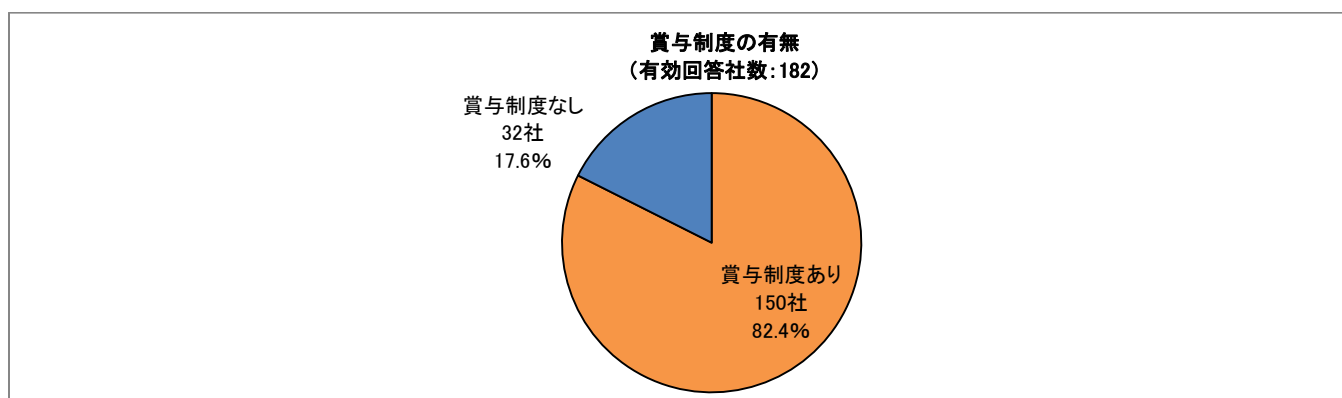
有効回答企業中 74.0%の企業がダブルペイを支給していると回答し、その内 126社(支給企業 94.0%)が1か月分を支給している。



3. 賞与

3.1 賞与制度の有無

有効回答企業中 80%強の企業が、定額固定性、変動性、又はその組み合わせにて、賞与制度を設けていると回答。



3.4 2012年度 賞与支給実績と2013年度 賞与支給予測

2013年度支給予測は、2012年度支給実績と比べ、平均値でほぼ同水準で支給されることが予測される。

また管理職レベルは、スタッフレベルと比較すると、平均値で0.24ヶ月程上回る見込みとなった。

管理職		
	2012年度賞与支給実績 (有効回答社数:97)	2013年度賞与支給予測 (有効回答社数:96)
最大値	5.05ヶ月分	8.20ヶ月分
平均値(※)	1.67ヶ月分	1.74ヶ月分
最小値	0.00ヶ月分	0.00ヶ月分
スタッフレベル		
	2012年度賞与支給実績 (有効回答社数:110)	2013年度賞与支給予測 (有効回答社数:111)
最大値	3.30ヶ月分	4.00ヶ月分
平均値(※)	1.45ヶ月分	1.50ヶ月分
最小値	0.00ヶ月分	0.00ヶ月分

- (※)管理職・スタッフレベルそれぞれの平均値については0.01ヶ月以上を有効回答としている。支給が0.00ヶ月の場合は除く。
- 上記にダブルペイは含まない。